

2017 年度 事業報告

2017 年度の我が国経済は、省力化投資を中心とした設備投資、インバウンド消費や輸出の増加などにより、拡大基調で推移した。

広告業界に目を転じると、日本の総広告費が 6 年連続で前年度を上回ったものの、インターネット広告の伸長や新聞・雑誌広告の低落傾向など、メディア間の浮沈が引き続き顕著に表れる中であって、交通広告は概ね前年度の水準を保った。

このような中、当協会としては、鉄道広告の持つ公益性に一層の配慮をするとともに、鉄道広告の付加価値を高めるべく、会員各社の御理解と御協力を得て、様々な取り組みをした。

具体的な事業としては、第 11 回「地球温暖化防止キャンペーン」、第 7 回「鉄道利用マネーUP キャンペーン」の実施や「e-販促データシステム」の改善、アカウントビリティ向上のための共通指標の整備、さらには鉄道広告の技術開発の研究などに取り組んだ。

そのほかの事業では、環境対策として、環境保全の取り組み状況の実態把握に努めたほか、安全対策としては、安全管理に関する状況把握に努めた。また、人材育成の面では、研修などで活用できるよう 2014 年度に発行した「交通広告ビジネス概論」を 3 年ぶりに大幅改訂し、発行した。

以下に、2017 年度の活動実績の概略を記述する。

1. 総会

(1) 定期総会(2017 年 6 月 27 日)

- ① 2016 年度 事業報告(案)
- ② 2016 年度 決算(案)
監査報告
- ③ 人事異動等に伴う理事・監事の選任(案)

報告事項

- ・2017 年度 事業計画
- ・2017 年度 予算
- ・副支部長・委員長・副委員長の委嘱
- ・第 11 回「地球温暖化防止キャンペーン」企画概要
- ・今後のスケジュール

2. 理事会

(1) 第1回理事会(2017年6月12日)

- ① 2016年度 事業報告(案)
- ② 2016年度 決算(案)
監査報告
- ③ 2017年度 事業計画(案)
- ④ 2017年度 予算(案)
- ⑤ 人事異動に伴う理事・監事の選任(案)
- ⑥ 副支部長・委員長・副委員長の委嘱(案)

報告事項

- ・第7回「鉄道利用マナーUPキャンペーン」実施状況
- ・第11回「地球温暖化防止キャンペーン」企画概要
- ・「e-販促データシステム」稼働状況
- ・アカウントビリティ向上の活動状況
- ・今後のスケジュール

(2) 臨時理事会(2017年6月27日)

- ① 常任理事・専務理事の選定(案)
- ② 支部長の委嘱(案)
- ③ 新規会員の入会承認(案)

(3) 第2回理事会(2017年12月7日)

- ① 副支部長の委嘱(案)
- ② 新規会員の入会承認(案)

報告事項

- ・第11回「地球温暖化防止キャンペーン」実施結果
- ・「交通広告ビジネス概論 2017」発行
- ・「e-販促データシステム」稼働状況
- ・アカウントビリティ向上の活動状況
- ・支部の活動状況

・今後のスケジュール

(4) 第3回理事会(2018年3月8日)

- ① 2018年度 事業計画(案)
- ② 2017年度 決算(見込)および2018年度 予算(案)
- ③ 副委員長の委嘱(案)
- ④ 会費規則の改訂(案)
- ⑤ 新規会員の入会承認(案)

報告事項

- ・内閣府立入検査報告
- ・技術開発委員会の活動状況
- ・「e-販促データシステム」稼働状況
- ・アカウントビリティ向上の活動状況
- ・今後のスケジュール

3. 委員会

(1) 総務・財務委員会

総務・財務委員会(稲川 一委員長)では、協会運営および事業、催事、財務管理等に関する総括的な施策の検討を行った。

【活動実績】

第1回 委員会 2017年6月6日

第2回 委員会 2017年11月27日

第3回 委員会 2018年2月27日

【活動成果】

- ① 2016年度「年次報告書」の発行(2017年6月)
年間の協会活動、広告業界動向、鉄道広告動向などを取りまとめた年次報告書を作成した。
編集委員
代表:稲川一委員長
編集責任者:仁平次雄副委員長

寄稿協力:奥田哲也氏(国土交通省 鉄道局長)、菊池晴彦氏(電通)

② 会員の拡大

2013 年度より継続した会員拡大策により2017 年度は正会員 3 社(ジェイアール東日本企画 中部支社、ジェイアール東日本企画 関西支社、北海道博報堂)、賛助会員 2 社(ヒット、ラクスル)が入会。

なお、退会社が 5 社あったため、2017 年度末時点で会員総数は 322 社。

(2) 倫理委員会

倫理委員会(神田橋 治委員長)では、掲出基準等に関する教育研修を実施した。

また、国土交通省との共同で「鉄道利用マナーUP キャンペーン」を 2017 年 5 月より実施した。

【活動実績】

第 1 回 委員会 2017 年 6 月 8 日

【活動成果】

① 倫理綱領・掲出基準等に関する教育研修の実施

首都圏支部(10 月 25 日)で会員社を対象に教育研修を実施した。

② 「鉄道利用マナーUPキャンペーン」に関する取組み

国土交通省が計画する「鉄道利用マナーUPキャンペーン」と共同し、展開・実施した。鉄道利用者を対象に、マナー啓蒙に資するキャンペーンとして、中小私鉄、地方公共交通を含む、85 社局の鉄道広告(中づくりおよび駅貼りポスター等)を使ったキャンペーンを実施した。

中づくりポスター約 165,000 枚、駅貼りポスター約 8,000 枚、放送(駅・車内)

※地方公共交通を通じて、官公庁庁舎、学校等教育機関等でもポスター掲出を実施。

(3) 美観風致委員会

美観風致委員会(滝 久雄委員長)では、昨年度に続き「地球温暖化防止キャンペーン」を実施した。

【活動実績】

ワーキンググループ会議 2017 年 4 月～11 月/6 回

【活動成果】

地球温暖化防止全国キャンペーンの実施

全国の鉄道広告ポスター枠を使用し、第 11 回「地球温暖化防止キャンペーン」を 8 月 1 日～31 日に展開した。宮田亮平氏、大津英敏氏、手塚雄二氏、日比野克彦氏、という著名アーティストのビジュアル提供、コピーは根岸礼子氏(マキプロ)、アートディレクターは蝦名龍郎氏の制作協力により、美しく話題性のあるキャンペーンポスター延べ約 50 万枚を、ご賛同いただいた全国の鉄道会社で掲出していただいた。デジタルサイネージメディアは昨年度以上に全国に拡大展開することができた。

(4) 環境委員会

環境委員会(富田 栄次委員長)では、美観風致委員会と共同で第 11 回「地球温暖化防止キャンペーン」を推進した。環境保全の取り組み状況の実態把握に努めた。

【活動実績】

第 1 回 委員会 2018 年 3 月 7 日

【活動成果】

「JAFRA 環境方針ポスター」「JAFRA 環境方針カード」の使用状況と、会員の環境に対する意識を調査するアンケートに基づき、環境保全の取り組み状況の実態把握に努めた。

(5) 安全委員会

安全委員会(西崎 俊文委員長)では、鉄道広告媒体設置、広告意匠掲出作業における安全意識向上を目的とした実務研修を実施した。安全管理に関する調査研究を推進した。

【活動成果】

- ① 鉄道広告の掲出・撤去、媒体設置作業等における安全教育研修の実施
首都圏支部(10 月 25 日)で会員社を対象に教育研修を実施した。
- ② 安全管理に関する調査研究を推進した。

(6) 標準化委員会

標準化委員会(大塚 尚司委員長)は、協会ホームページで公開している「全国鉄道

広告料金表」について改訂作業を行なった。

【活動実績】

ワーキンググループ会義 2018 年 2 月 7 日

【活動成果】

- ① 2017 年度版「全国鉄道広告料金表」の作成
- ② 協会HP上に料金表を掲載。
- ③ 2018 年度版「全国鉄道広告料金表」の作成準備

(7) 人材育成委員会

人材育成委員会(小野寺 忠之委員長)では、「交通広告ビジネス概論 2017」を作成し配布した。また実務者研修、業界有識者を招いてのセミナーなど、会員各社の人材育成のためのプログラムを提供した。

【活動実績】

交通広告ビジネス概論 2017 発行 2017 年 8 月

【活動成果】

- ① 「交通広告ビジネス概論 2017」の発行 2017 年 8 月
- ② 交通広告実務研修
以下の支部において会員社を対象に、交通広告実務研修を実施した。

北海道支部

7 月 27 日 (北海道ジェイ・アール・エージェンシー会議室)

演題: 「安全安心な交通広告について」

講師: 萩久保 守哉氏他 3 名 富士フィルムイメージングシステム(株)

参加者 10 社 30 名

首都圏支部

10 月 25 日 (ジェイアール東日本企画会議室)

研修内容

- | | |
|-------------|----------------------------|
| ・交通広告の概要と実務 | 講師: 金沢 一幸氏 (株)メトロアドエージェンシー |
| ・交通広告の展開事例 | 講師: 吉田 勝広氏 (株)オリコム |

- ・交通広告の倫理綱領、掲出基準 講師:石黒 孝夫氏 (株)ジェイアール東日本企画
- ・交通広告の掲出・撤去時の安全対策
講師:紫籐 裕二氏 (株)ジェイアール東日本企画
参加者 24 社 50 名

近畿・中国・北陸支部

9 月 27 日 (JR 西日本コミュニケーションズ会議室)

研修内容

- ・交通広告が注目を得るために必要なポイント～事例紹介をまじえ～
講師:土屋 樹一氏 (株)JR 西日本コミュニケーションズ
- ・交通広告とスマートフォンの連携について～首都圏交通広告のトレンドとトピックス
講師:山本 孝氏 (株)ジェイアール東日本企画
参加者 35 社 87 名

③ セミナーの実施

以下の支部においてセミナーを開催した。

東北支部

12 月 11 日 (ホテルメトロポリタン仙台)

演題:「デジタルサイネージにおける広告モデルの実務・事例紹介」
～DSC スペシャルセミナーより～

講師:山本 孝氏 (株)ジェイアール東日本企画

参加者:12 社 27 名

首都圏支部

7 月 10 日 (ホテルメトロポリタン池袋)

演題:「消費財メーカーのマーケティング戦略と課題から考える交通広告・メディアへの期待」

講師:川鍋 洋治氏 モンデリーズジャパン(株) 取締役マーケティング部長

参加者:47 社 82 名

11 月 14 日 (宣伝会議 会議室)

演題:「帝人グループの広報戦略と実践」

講師:宇佐美 吉人氏 帝人(株) コーポレートコミュニケーション部長

参加者:16社30名

3月20日 (ジェイアール東日本企画会議室)

演題:「未来の駅の姿・駅で生まれるコミュニケーションを考える」

講師:引地 耕太氏 (株)ワン・トゥー・テン・ホールディングス クリエイティブディレクター

参加者:25社46名

中部支部

10月16日 (JR ゲートタワーカンファレンス)

演題:「若者の消費行動 ～“シミュレーション消費”を乗り越える!～」

講師:堀 好伸氏 (株)リサーチ・アンド・ディベロップメント ビジネスプロデューサー

参加者:22社58名

近畿・中国・北陸支部

7月5日 (ホテルグランヴィア大阪)

演題:「地域活性化における鉄道ビジネスのはたす役割とは
～TWILIGHT EXPRESS 瑞風の事例～」

講師:岡田 学氏 西日本旅客鉄道(株) 鉄道本部 営業本部 瑞風推進事業部 部長

参加者:47社92名

四国支部

2018年2月14日 (JR ホテルクレメント高松)

演題:「交通広告が注目を得るために必要なポイント」

講師:土屋 樹一氏 (株)ジェイアール西日本コミュニケーションズ

参加者 12社21名

九州支部

8月28日 (JR 博多シティ大会議室)

演題:「鉄道広告の事故防止」

講師:加藤 潔氏 公益社団法人日本鉄道広告協会 専務理事

参加者:26社50名

(8) 技術開発委員会

技術開発委員会(山本 章義委員長)では、「技術進化に伴う鉄道広告の展開」という

テーマの下、最新デジタルサイネージ動向、海外の交通広告事情等の最新情報について情報交換会を通じて会員へ発信した。また、技術・商品開発研究チームを設置し、より専門的な情報を得るべく、「デジタルサイネージで提供する情報やコンテンツの品質向上に寄与する取組み」や「交通広告とスマートフォンの連携」を中心に委員・関係者相互で研鑽の場を設けた。

【活動実績】

第 1 回技術商品開発研究会会議	2017 年 12 月 1 日
第 2 回	2018 年 1 月 19 日
情報交換会	2 月 16 日
第 1 回委員会	2 月 16 日

【活動成果】

- ① 昨今の ICT 等最新技術の状況や交通広告を取り巻く状況を検証し、駅等利用者への情報提供や広告の効果的な事例について具体的に抽出し議論。

- ② 情報交換会の開催

2018 年 2 月 16 日 ジェイアール東日本企画 大会議室

参加者 31 社 105 名

14:00～ 開会挨拶 技術開発委員会委員長 山本 章義氏

14:05～ 「ダイナミック DOOH の展開事例と交通広告における可能性」

(株)電通 アウト・オブ・ホーム・メディア局

テック&データインテリジェンス部長 神内 一郎氏

15:05～ 「デジタル&アナログの優れた技術を使った OOH メディアの最新事例」

技術開発委員会 委員 吉田 勝広氏

16:15～ 「海外における交通広告等事例の紹介」

技術開発委員会 副委員長 山本 孝氏

事務局 土屋 樹一氏

16:55～ 閉会挨拶 技術開発委員会 副委員長 望月 敏弘氏

(9) 調査研究委員会

調査研究委員会(栗原 圭一委員長)では、2014 年 4 月 1 日に、新たに「Station AD Planner」「Train AD Planner」という名称で稼働開始した「e-販促データシステム」の機能を 2017 年 4 月 1 日に一部リニューアル。操作説明会を交通広告共通指標プロジェクトと共同で、東京と大阪で開催した。また、操作説明会において改修要望等のアンケ

ート、その後システム管理者にも同様のアンケートを実施し、その内容について、企画編集会議で検討し、次年度のシステム改修に反映することとした。

【活動実績】

e-販促データ委員会 企画編集会議 2017年4月～2018年3月/6回

【活動成果】

- ① 「e-販促データシステム」の機能を4月1日に一部リニューアル
- ② 操作説明会 交通広告共通指標推定システム説明会と共同開催
東京会場：6月5日 ジェイアール東日本企画 会議室
参加者 50社88名
大阪会場：6月15日 JR西日本コミュニケーションズ 会議室
参加者 33社64名
- ③ アンケート結果の活用
説明参加者と管理者を対象に行ったアンケート結果を参考に、e-販促データ委員会企画編集委員を中心に検討を重ね2017年度の改修に反映することとした。

(10) 業務近代化委員会

業務近代化委員会(阿部 晋治委員長)では、懸案となっているアカウントビリティ向上のため、関係する委員会(標準化委員会/調査研究委員会)とともにアカウントビリティ向上委員会の活動に協力した。

【活動成果】

各鉄道会社によって異なるデータ整備の基準を共通指標化するための作業について、アカウントビリティ向上委員会、標準化委員会、調査研究委員会と共に協力し具体的に取組んだ。

(11) PR 委員会

PR委員会(阿久津 光志委員長)では、会報誌”JAFRA NEWS”の発行、ホームページの充実など、協会内外へ向けてのPR活動を行った。

【活動成果】

- ① 会報誌(JAFRA NEWS)の発行
巻頭レポートについて、各支部からの情報発信を強化し、情報発信力と会員相互の

情報の共有化を図った。

② ホームページアクセス数の向上

地球温暖化防止キャンペーンにあわせて当協会ホームページ内にキャンペーン特設サイトを開設するなどの連動を図り、前年比較で昨年を上回るアクセス数となった。

(12) アカウンタビリティ向上委員会

アカウンタビリティ向上委員会(大塚 尚司委員長)では、「交通広告のアカウントビリティ向上」の課題進捗を図るべく定期的にプロジェクト会議を開催。2017 年度は、2014 年度に開始し蓄積した車両メディア調査結果により、データを精緻化するとともに、年齢区分、ステッカーの業種区分を増やし「交通広告共通指標策定モデル」を発表し、2018 年 4 月 2 日「交通広告共通指標推定システム」をリニューアルした。

2018 年度以降も同様の調査を実施し、「共通指標策定モデル」の構築と既存データの精緻化を図っていくこととする。

また、駅媒体については、2016 年度より本調査を開始し、共通指標化に向けてデータを蓄積している。

【活動実績】

交通広告共通指標推進プロジェクト会議 2017 年 4 月～2018 年 3 月/7 回

【活動成果】

① 交通広告共通指標策定調査

<車両メディア>

- ・調査目的: 交通広告の共通指標策定に資するため、広告接触率、広告到達率をはじめとする各種基礎データの収集・蓄積を目的とする。
- ・調査期間: 2017 年 3 月～7 月
- ・調査路線: 京浜急行電鉄、東京地下鉄、京成電鉄、東武鉄道、西武鉄道、京王電鉄、小田急電鉄、東京急行電鉄、東日本旅客鉄道、東京都交通局、相模鉄道
- ・調査方法: インターネット調査 調査協力会社の(株)ビデオリサーチに依頼し、特定サイトに訪問の上回答。
- ・調査内容: 当日の行動、広告接触状況、広告到達状況、他メディア接触状況他。
- ・調査対象者: 一都三県に居住する 15 才～59 才で指定日の調査対象鉄道路線利用者
- ・サンプル数: 9,900 サンプル(1 素材あたり 300 サンプル×3 日間)

上記調査結果については、2012 年度実証調査（JR 東日本・東京地下鉄 2 社だけで調査：2,967 サンプル）、2013 年度調査（14,100 サンプル）、2014 年度調査（15,000 サンプル）、2015 年度調査（14,700 サンプル）、2016 年度調査（9,900 サンプル）と集計し、交通広告共通指標策定調査総合報告書を作成。

< 駅メディア >

- ・調査目的：交通広告の共通指標策定に資するため、広告接触率、広告到達率をはじめとする各種基礎データの収集・蓄積を目的とする。
 - ・調査期間：2017 年 8 月～11 月
 - ・調査路線：京浜急行電鉄、東京地下鉄、京成電鉄、東武鉄道、西武鉄道、京王電鉄、小田急電鉄、東京急行電鉄、東日本旅客鉄道、東京都交通局、相模鉄道
 - ・調査方法：インターネット調査 調査協力会社の(株)ビデオリサーチに依頼し、特定サイトに訪問の上回答。
 - ・調査内容：当日の行動、広告接触状況、広告到達状況、他メディア接触状況他。
 - ・調査対象者：一都三県に居住する 15 才～59 才で指定日の調査対象鉄道駅の指定スポットを通過した人
 - ・サンプル数：1,100 サンプル（1 素材あたり 100 サンプル×1 日間）
- ② 「交通広告共通指標推定モデル」更新と追加
2017 年度は、車両メディアの「年齢区分」とステッカーの「業種分類」を細分化。交通広告共通指標推定システムを 2018 年 4 月 2 日付けで更新。
- ③ 交通広告共通指標に関する報道発表 3 月 23 日
「公益社団法人日本鉄道広告協会」「一般社団法人日本広告業協会」及び「関東交通広告協議会」3 団体連名で、4 年間の調査にわたり 1,264 素材の広告効果を調べ、結果を蓄積。その成果に基づき「中づくり<一般>」「まど上」「ドア横」「中づくり<出版>」「ステッカー」「車内ビジョン」の 6 パターンで“共通指標推定モデル策定および推定システムの進化”を国交省記者クラブ、都庁記者クラブ、その他業界紙等に報道発表した。合わせて調査から得られた「スマートフォンと交通広告の親和性の高さ」も発表。

4. 支部

(1) 北海道支部

- ① 支部理事会 (4月20日 札幌全日空ホテル)
出席者 7社
- ② 支部総会・懇親会 (" ")
総会 出席者 18社
懇親会 出席者 21社 50名
- ③ 交通広告講演会(7月27日 北海道ジェイ・アール・エージェンシー)
演題:「安心安全な交通広告について」
講師:萩久保 守哉氏 富士フィルムイメージングシステム(株)
参加者 10社 30名
- ④ 媒体視察研修会 (10月11日～13日)
福岡駅・熊本駅 福岡・熊本の交通広告について
参加者 7社 9名
- ⑤ 交通広告勉強会 (2018年2月19日 ANAクラウンプラザホテル)
内容:企画商品、デジタルサイネージの販売状況等
参加者 17社 47名
- ⑥ 第11回「地球温暖化防止キャンペーン」の実施
- ⑦ 第7回「鉄道利用マナーUP キャンペーン」の実施

(2) 東北支部

- ① 支部総会・懇親会 (12月11日 メトロポリタンホテル仙台)
出席者:12社 27名
- ② 支部セミナー (" ")
演題:「デジタルサイネージにおける広告モデルの実務・事例紹介」
～DSCスペシャルセミナーより～
講師:山本 孝氏 (株)ジェイアール東日本企画
- ③ 第11回「地球温暖化防止キャンペーン」の実施
- ④ 第7回「鉄道利用マナーUP キャンペーン」の実施

(3) 首都圏支部

- ① 支部幹事会・支部総会・懇親会(7月10日 ホテルメトロポリタン池袋)
参加者:46社46名
- ② 交通広告実務研修 (10月25日 (株)ジェイアール東日本企画会議室)
研修内容
・交通広告の概要と実務 講師:金沢 一幸氏 (株)メトロアドエージェンシー
・交通広告の展開事例 講師:吉田 勝広氏 (株)オリコム
・交通広告の倫理綱領、掲出基準
講師:石黒 孝夫氏 (株)ジェイアール東日本企画
・交通広告の掲出・撤去時の安全対策
講師:紫籐 裕二氏 (株)ジェイアール東日本企画
参加者:24社50名
- ③ 支部セミナー
第1回セミナー (7月10日 ホテルメトロポリタン池袋)
演題:「消費財メーカーのマーケティング戦略と課題から考える交通広告・メディアへの期待」
講師:川鍋 洋治氏 モンデリーズジャパン(株) 取締役マーケティング部長
参加者:47社82名
- 第2回セミナー (11月14日 宣伝会議 会議室)
演題:「帝人グループの広報戦略と実践」
講師:宇佐美 吉人氏 帝人(株) コーポレートコミュニケーション部長
参加者:16社30名
- 第3回セミナー (3月20日 ジェイアール東日本企画 会議室)
演題:「未来の駅の姿・駅で生まれるコミュニケーションを考える」
講師:引地 耕太氏 (株)ワン・トゥー・テン・ホールディングス クリエイティブディレクター
参加者:25社46名
- ④ 第2回支部幹事会(3月8日 (株)ジェイアール東日本企画会議室)
- ⑤ 第11回「地球温暖化防止キャンペーン」の実施

⑥ 第 7 回「鉄道利用マナーUP キャンペーン」の実施

(4) 中部支部

- ① 支部総会 (7月24日 ジェイアール東海エージェンシー会議室)
参加者:27社 38名
- ② 支部セミナー (10月16日 JR ゲートタワーカンファレンス)
演題:「若者の消費行動 ～“シミュレーション消費”を乗り越える!～」
講師:堀 好伸氏 (株)リサーチ・アンド・ディベロップメント ビジネスプロデューサー
参加者:22社 58名
- ③ 交通広告インターン・調査研究事業
「交通広告インターンシップ 2017」
会員社:5社 12名
参加大学:愛知大学、金城学院大学、中京大学 3大学 19名
協賛広告主:ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)
スケジュール:
10月28日(土)
オリエンテーション
講義「交通広告概論」、「交通広告展開事例」、「交通広告営業」、
「デジタルサイネージ」
協賛広告主オリエンテーション
10月29日(日)講義「クリエイティブ」
11月25日(土)広告制作プレゼンテーション
2月5日(月) 選ばれたチームの広告を「名古屋エクスプレスビジョン」で放映
～11日(日)
- ④ 第 11 回「地球温暖化防止キャンペーン」の実施
- ⑤ 第 7 回「鉄道利用マナーUP キャンペーン」の実施

(5) 近畿・中国・北陸支部

- ① 支部総会 (7月5日 ホテルグランヴィア大阪)
参加者:44社 44名
- ② 支部セミナー (" ")

演題:「地域活性化における鉄道ビジネスのはたす役割とは
～TWILIGHT EXPRESS 瑞風の事例～」

講師:岡田 学氏 西日本旅客鉄道(株)
鉄道本部 営業本部 瑞風推進事業部 部長

参加者:46 社 92 名

- ③ 交通広告実務研修 (9 月 27 日 (株)ジェイアール西日本コミュニケーションズ会議室)
・交通広告が注目を得るために必要なポイント～事例紹介をまじえ～
講師:土屋 樹一氏 (株)JR 西日本コミュニケーションズ
・交通広告とスマートフォンの連携について～首都圏交通広告のトレンドとトピックス
講師:山本 孝氏 (株)ジェイアール東日本企画
参加者 35 社 87 名
- ④ 支部幹事会 (7 月 5 日、ホテルグランヴィア大阪)
- ⑤ 第 11 回「地球温暖化防止キャンペーン」の実施
- ⑥ 第 7 回「鉄道利用マナーUP キャンペーン」の実施

(6) 四国支部

- ① 支部役員会 (5 月 22 日(株)ジェイアール四国企画会議室)
- ② 支部総会・懇親会 (6 月 23 日 湯元こんぴら温泉華の湯 紅梅亭)
参加:14 社 14 名
- ③ 視察研修 (11 月 16 日～17 日)
場所 金沢・富山
目的 北陸新幹線開業後の広告事情の変化に関するヒアリング及び視察
参加者:6 社 8 名
- ④ 講演会 (2018 年 2 月 14 日 JR ホテルクレメント高松)
演題:「交通広告が注目を得るために必要なポイント」
講師:土屋 樹一氏 (株)ジェイアール西日本コミュニケーションズ
参加者:12 社 21 名
- ⑤ 支部会員交流会 (2 月 14 日 JR ホテルクレメント高松)
参加者:12 社 25 名
- ⑥ 第 11 回「地球温暖化防止キャンペーン」の実施
- ⑦ 第 7 回「鉄道利用マナーUP キャンペーン」の実施

(7) 九州支部

- ① 支部総会（8月28日 JR博多シティ会議室）
参加者 23社37名
懇親会（ごちそうダイニング「ななつの花」）
参加者 26社50名
- ② 支部セミナー（8月28日 JR博多シティ会議室）
演題:「鉄道広告の事故防止」
講師:加藤 潔氏 公益社団法人日本鉄道広告協会 専務理事
参加者 26社47名
- ③ 支部運営会議（8月18日）
- ④ 北海道支部との意見交換会（10月11日 JR九州エージェンシー会議室）
- ⑤ 第11回「地球温暖化防止キャンペーン」の実施
- ⑥ 第7回「鉄道利用マナーUP」キャンペーンの実施